

防犯ニュース

あなたの目と気づきと行動でこのまちを犯罪に強いまちに

【発行元】
印西市防犯組合中央南支部

【発行責任者】
支部長 平井 健男

平成22年度 No. 2
9月20日発行

夏祭り会場と周辺地域をパトロール 防犯指導員が活動



学校関係者と協力して会場周辺をパトロールする

★中央南支部では、夏の恒例行事「夏祭り」が、今年7月31日に「高花小学校」校庭で高花地区夏祭り。8月28日、29日には、多々羅田公園にて印西NT夏祭りが行われ、それぞれ天候に恵まれて、夏休み中の子供たちはもちろん、地域の人々に夏の一日を楽しんで頂いたイベントとなりました。

★今回も、学校関係者の多数の方々の協力を戴きました。高花地区夏祭り会場では、高花小学校校外指導委員会メンバー30名余の協力で、定時的に会場内は元より、周辺の緑道、通路を歩行パトロールしながら声かけをしています。また、多々羅田公園会場では、内野小学校、原山小学校、原山中学校の教職員、校外部の皆

賑やかな会場を横目にパトロールする(高花会場)



様から3日間、わたり延べ100名近い参加者のご協力があり巡回パトロールを行いました。この他、多々羅田会場では子供三ッ山車、万灯みこしの繰り出しに伴い、路上での交通安全や、打上げ花火会場となった内野小学校入り口周辺での観客整理などは、夏祭り実行本部の警備担当と協力して作業に当たりました。幸い、両会場とも大過なく平穩無事に終了。防犯活動にご支援いただいた夏祭り実行委員会や、学校関係者に改めてお礼申し上げます。



祭り会場で待機する防犯指導員(多々羅田会場)



団地で連続 忍込み被害発生

お盆明けの19日から25日にかけて、高花4丁目や、原山2丁目団地の複数棟で、階上階を含めて10件の忍込み空き巣被害が発生しました。これまで比較的被害が少なくないと思われていた団地階上階での忍込みという点で、高花4丁目の団地管理組合では、緊急に事件発生のお知らせと注意ビラを全28棟の階段下掲示板に貼り出して居住者に注意を呼びかけた他、28日夜9時から緊急の会合を開いて対応を協議しています。

◆これから秋の夜長に向かって、過剰に早い開放的な時間が増えてくると思いますが、団地に限らず戸建のお宅でも、防犯に対する意識を高揚、自衛策に真剣に取り組んでいただきたいと思えます。

★警察の話によれば、泥棒が狙いやすい家として、
○郵便受けに新聞が溜まっている
○雨戸やカーテンが閉まっている
○インターホンで呼んでも応答がない
○夕暮れ時に室内の灯りが消えている。

★また、ドロボーが一番嫌がるのは、
●近所の人に「ソコソコ見られたい」と、ソコソコ見られる近所つきあいを大切に、ドロボーが入り込みにくくする街づくりが大切。と云われています。

ドロボーはあなたのスキをねらっています



防 止 対 策

- 窓やドアは、ツーロックで施錠
- 短時間の外出でも、こまめにカギ掛け励行
- 外出時は、隣近所に「ひと声」かけてから

窓やドアもツーロック



ご近所付き合いで、ひと声かけて

